

(別紙1)

実施計画書

(1) 事業者の概要

項目	記入欄									
1 会社名	株式会社 OO石油									
2 代表者名	OO太郎									
3 住所	東京都港区虎ノ門 O-O-O									
4 設立年月日	昭和OO年OO月									
5 資本金	OO.O 億円									
6 主要株主及び持株比率 (%)	① OO銀行 45.1 (%) ② OO商事 35.8 (%) ③ OO物産 19.1 (%)	④ (%) ⑤ (%) ⑥ (%)								
7 財務緒表	前々々年 売上高	OO,OOO 百万円	経常利益	OO,OOO 百万円						
	前々年 売上高	△△,△△△ 百万円	経常利益	△△,△△△ 百万円						
	前年 売上高	□□,□□□ 百万円	経常利益	□□,□□□ 百万円						
8 コンビ則 第2条第22号の 適用の有無	有		無							
9 対象事業所 (設備所在地)	OO製油所 (OO県OO市OO町 O-O-O)									
10 間接補助事業の別 (※)	(1) 球形貯槽のブレースに対する耐震補強 の補助対象経費 (①、②、③) (2) 重要高圧ガス設備に対する耐震補強 の補助対象経費 (①、②、③)			3 基分						
11 補強工事に自社製品及び関係会社の 使用の有無	有		無							
12 担当者連絡先	住所	OO県OO市OO町 O-△-□								
	部署名及び役職	工務部 部長								
	責任者名	△△次郎								
	電話番号	OOO-OOOO-OOOO								
	FAX番号	OOO-OOOO-□□□□								
	E-mail	enjiniaring@enaa.co.jp								

(※) 補助対象経費について申請する①～③に○をつけてください。全ての場合は①～③まで全部に○をつけることになります。(応募要領：5. 補助金交付の対象事業)

(2) 対象設備の概要

(No. 1)

対象設備名	△△製造設備			
設備の種類(※1)	球形貯槽(タンクNo.記載) (※3)			
貯蔵物質	種類	プロパン	可燃性又は毒性の種別	可燃性
	貯蔵量	300 TON	用途	燃料
基數(※2)	3 基			
保安物件までの保安距離等 (保安距離を記載した構内地図を添付のこと)	第1種保安物件まで 85 (小学校等) m 第2種保安物件まで 105 (民家等) m 敷地境界まで 50 m			
重要度	I _a	I	II	III
補強工事の必要理由	耐震告示前に建設した設備のため、現行の耐震告示の「レベル2耐震性能」を満足させる。			
設備の補強概要 (補強部位も明記のこと)	① 鋼管ブレース交差部の補強を図る。 ② 支柱の断面性能を増強する。 (注記)実施計画書の10項で球形貯槽のブレース補強で申請する場合は、ベースプレート、シャープレート、基礎ボルトは補助対象外ですので、注意して下さい。 また、耐震告示第250号の例示基準と異なる補強方法を採用する場合は(特に支柱とブレースの取付部)、FEM解析等により高圧ガス設備等耐震基準に照らして十分な保安水準の確保ができる技術的根拠を示す必要がありますので、見積書を添付する場合は、この解析費用も計上して下さい。この費用は補助対象の設計費に含めることができます。			
耐震設計手法	大臣認定 SEISMIT-OO	KHK耐震設計指針	その他 (FEMによる動的解析)	

(※1) 設備の種類については、球形貯槽、塔槽類(豎置)、塔槽類(横置)、塔類+架構、配管+架構、基礎等別に記載のこと。

(※2) 記載内容が同じものについて複数のものを申請する場合には基數を明記のこと。

(※3) 補修履歴がある場合には記載のこと。(「記入例」参照)

【補修履歴】

タンクNo.△ 製造年月:昭和△△年□□月

支柱補強:平成○○年□□月 (補強内容を記載)

基礎補強:平成○○年□□月 (補強内容を記載)

タンクNo.△ 製造年月:昭和△△年□□月

タンクNo.△ 製造年月:昭和△△年□□月